

調教 G メン井内氏の鳴尾記念調教評価

坂路のパワーが調教適性を発揮した

今年は中京芝 2000m で行われる鳴尾記念。

というわけで、先週行われた中京芝 2000m の調教適性を参考にしたいと思います。

春夏開催中京芝 2000m に最適な調教内容は最終追い切りが坂路馬場で 4F 目最速ラップを踏むことですが、先週行われた中京芝 2000m の 4 レースはすべて、これに該当した馬が 1 着でした。

3 歳限定戦とはいえ、オープン特別だった白百合 S に関しては 3 着以内がすべて最終追い坂路で 4F 目最速ラップ。

勝負どころが残り 1000m と早いスパート地点を迎えたことで、ゴール前は凌ぎ合いのようなレース。

そこで坂路のパワーが調教適性を発揮したという印象を受けます。

◎ペプチドオーキッドは最終追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.7 秒。

4F58.7 秒と全体時計が遅く、これは前走長期休養明けで好走した反動では、と心配する方もいるでしょう。

だとすれば、5 月 26 日の 1 週前追い切りを栗坂でこなすことはできなかったでしょうし、5 月 29 日に栗坂 2F24.4 秒をマークすることもなかったはず。

ここに向けて、きっちりと計算した追い切りをこなしているだけに、あとはまだ格下の身で重賞のペースに対応できるかどうか、でしょう。

それでもここで推したのは栗坂での駆け上がり方。

少し肩幅の広いスタンスで確実に地面を捕まえる走り。

雨の影響を受ける馬場になれば、この走法も大きな武器になると判断しました。

また、前走が中京芝 2200m でメンバー最速上がりマークしての坂路のダブル最速も評価しています。

○クラージュゲリエは最終追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.3 秒。

良馬場想定なら、このラップを評価したいところですが、肩幅狭めのスタンスは基本良馬場向きだと思います。

ちなみに中間の追い切りでは併せ馬に遅れていますが、この馬はそういったタイプ。

むしろ 1 週前追い切りでは、栗坂 4F51.8 秒で自己ベストを更新したことを評価すべきでしょう。

▲サンレイポケットは最終追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.0 秒の最速ラップ。

こちらも良馬場なら本命候補ですが、雨馬場で評価を下げた形。

ただ、ゴール前で上がりを要する展開は最も得意とするところ。

1 週前追い切りは CW でしっかりと時計を出すことができましたし、前走に引き続いての坂路のダブル最速で安定した走りは期待できるはず。

△ショウナンバルディは最終追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.6 秒の最速ラップ。前走と同じ調教内容なので評価した形です。

☆ユニコーンライオンは最終追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.4 秒。

併せ馬でしたが、渋太く脚を使った走りはレースでの好走もイメージさせてくれます。

個人的には 2000m の距離に不安を感じていますが、夏開催中京芝 2000m という条件だと、過去 3 年で単勝回収率 313% という矢作芳人厩舎の厩舎適性があります。

注アメリカズカップは最終追い切りが栗東坂路で 4F 目 12.5 秒で最速ラップ。

前走時も同じ調教適性で 7 着。

そこに雨の影響が加われば、着順を上げる余地はあると思います。